

舞踊会の手帳

昔、舞踊会の手帳 といふ映画心ゆく
昔にふどつた人の住神をたねが赤く物語
たつた

今もそのうらうらとかがあふ

美為常昇の希望の星でまると自他界はみとや

こいた 青年 ぞのころの知りあひを

たづねていゝらしい

私の所へ去年の十二月 ふりたにエブねと来た

五十年も何のサも何の人も どうして

来たのかと思つた

目の前には居つていゝ人はあふとりにして

衣長にふさふさつていゝ人と思ふ元氣い

寒いかう毛をいとすとうのは当然だが

手とかが花がちがう

みすばうらしい年ぶりの男の子だ

五十年前の話をあふ

巨人の花園とこころをしのび

トクといふ人にお金をわけてかえせたいと

土地をとうねる人が 何人もいゝ

